

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公開番号】特開2006-243367(P2006-243367A)

【公開日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【年通号数】公開・登録公報2006-036

【出願番号】特願2005-59212(P2005-59212)

【国際特許分類】

G 0 3 G 5/08 (2006.01)

G 0 3 G 5/147 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 5/08 3 0 1

G 0 3 G 5/08 3 1 1

G 0 3 G 5/147 5 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

導電性の基体の上に少なくとも光導電層とフッ化マグネシウムよりなる表面層を有する電子写真用感光体であって、前記表面層は少なくとも結晶構造を有するとともに、電子写真用感光体表面側からみた結晶構造の X 線回折で得られる面方位 1 1 0 の反射強度のピーク値に対する、面方位 1 0 1 の反射強度の比率が 0 ～ 0.8 であることを特徴とする電子写真用感光体。

【請求項 2】

前記電子写真用感光体表面側からみた結晶構造の X 線回折で得られる面方位 1 1 0 の反射強度のピーク値に対する、面方位 1 0 1 の反射強度の比率が 0 ～ 0.6 であることを特徴とする請求項 1 に記載の電子写真用感光体。

【請求項 3】

少なくとも前記光導電層がアモルファスシリコンを主成分としてなることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の電子写真用感光体。